

事務事業名		災害廃棄物処理事業(水産関連)		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目			
	施策名	06 廃棄物処理対策の推進							
	基本事業名	01 ごみの適正処理とリサイクルの推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 23 年度～ 24 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計	款	項	目
根拠法令		東日本大震災により生じた災害廃棄物の処理に関する特別措置法		01	04	02	04	00	
所属	部課名	農林水産部 水産課		総投入量 (千円)		国庫支出金 758,464 都道府県支出金 72,729 地方債 その他 一般財源 20,964 事業費計(A) 852,157			
	係名	漁政係/漁港漁村係	電話 27-3111 内線 372	正規職員従事人数 5 延べ業務時間 1,200 人件費計(B) 4,800 トータルコスト(A)+(B) 856,957					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により発生した災害廃棄物(海中・海上ガレキ及び水産加工残渣)の処理に関する事業。漁業及び水産加工業の早期復旧のため、当該処理分を水産課で所管した。 ・主な事業内容は海中・海上ガレキの撤去、運搬処理及び水産加工残渣の撤去、分別処理、処分(基本的には陸上ガレキと同じ処分方法)に係る事務であり、事業費はその経費として支出され、「東日本大震災により生じた災害廃棄物の処理に関する特別措置法」等に基づき、国が財政措置を講じている。 ・具体的な事務は、 ①海中・海上ガレキ処理(県及び漁業者が回収、分別、仮置場への運搬等に係る調整) ②水産加工残渣処理(水産加工残渣の撤去、埋却処分、埋却地管理、海洋投棄処分等に係る調整) ③共通事務(上記①・②に係る、委託契約締結、支払い、完了検査等、国への補助金申請に係る各種資料作成、補助金請求、精算事務ほか)									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
① 手段(主な活動)		名称		
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位		
・海中・海上ガレキ(県及び漁業者との調整、委託契約締結、支払い事務ほか) ・水産加工残渣(水産加工業者との調整、委託契約締結、支払い事務ほか) ・上記に係る補助金申請手続き(計画作成、補助金申請ほか)		ア	海中・海中ガレキ処理に係る委託契約件数	件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	水産加工残渣処理に係る委託契約件数	件
・海中・海上ガレキは前年度とほぼ同様の内容。 ・水産加工残渣は埋却地の管理、最終的な処分に係る関係者との調整ほか。		ウ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		
・災害廃棄物(海上・海中ガレキ及び水産加工残渣) ・漁業者及び水産加工業者		名称		
		単位		
		カ	災害廃棄物(推定海域流出量)	t
		キ	災害廃棄物(水産加工残渣排出量)	t
		ク	漁協組合員数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
・災害廃棄物を適正に処理する。 ・漁業者及び水産加工業者が復旧を行うための基礎が整う。		名称		
		単位		
		サ	海中・海上ガレキの延べ処理量/推定海域流出量	%
		シ	処理を行った水産加工残渣の割合	%
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス		
・ごみを適正に処理する。				

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	645,964	112,500			
		都道府県支出金	千円	72,729	0			
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	8,464	12,500			
		事業費計(A)	千円	727,157	125,000	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5			
		延べ業務時間	時間	1,000	200			
		人件費計(B)	千円	4,000	800	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	731,157	125,800	0	0	0
⑤ 活動指標	ア	件	8	3				
	イ	件	42	2				
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	t	未把握	未把握				
	キ	t	13,000	13000				
	ク	人	3,004	3004				
⑦ 成果指標	サ	%	未把握	未把握				
	シ	%	100	100				
	ス							

事務事業ID	1553	事務事業名	災害廃棄物処理事業(水産関連)
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、大量の災害廃棄物が海に流失したこと。また、被災した水産加工施設等に保管されていた水産加工残渣等が腐敗し、その処分を要請されたことによる。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・震災直後は、災害廃棄物の処理に係る方向性が流動的であったため、水産加工残渣に関しては県と協議し埋却処理を行った。その後、海洋投棄が認められ一部は海洋投棄処分を行ったものの、多くは埋却処分されたままで、継続的な維持管理が必要な状況となっている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・海上、海中ガレキに関しては、流失したガレキのすべてを回収することは不可能であり、各漁業協同組合及び漁業者と協議しながら、漁業活動や船舶の航行に支障がある部分を優先的に回収してきたが、潮流等の影響でガレキが絶えず移動しており、そのたびに回収を行わなければならない状況となっている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は災害廃棄物である一般廃棄物の処理事業であり、法に基づき適正に処理することは、施策の意図そのものである。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物は一般廃棄物であり、法に基づき市町村が処理すべき事務となっている。また、今回の震災による被害はあまりにも甚大であり、事業系の一般廃棄物であっても行政の支援なくして適正な処理は困難な状況であったことから、市が実施することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物の定義は法で定められており適切である。 ・また、漁業及び水産加工業の早期復旧のため、海上・海中ガレキ及び水産加工残渣の処理を水産課で所管したものである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・早期に事業を完了させることができれば早期の成果が向上が見込めるが、実際によりを行うには現状の体制で一杯であり難しい状況にある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物の処分が完了すれば事業は廃止となるが、事業途中で廃止することは廃棄物のそのまま放置されることになりできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・他課所管の陸上ガレキ処分に関する事業がある。 ・漁業及び水産加工業の早期復旧のため、海上・海中ガレキ及び水産加工残渣の処理を水産課で所管したものであり、補助金関連事務や一部最終処分は陸上分と合わせて実施するなど、連携して進めている。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・予め計画した処理計画に基づき国の査定を受けており、適切な規模で実施していることから削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・他の震災復旧事業とあわせ必要最低限の人員で実施しており削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒	<ul style="list-style-type: none"> ・法に基づき処理費用は基本的に国・県費で措置されている。また、市民へ負担を求めることは適切でない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23年度は県や他の関係部署と連携を図りながら、水産課所管分はほぼ回収、処分を終えることができた。 ・今後、海上・海中ガレキに関しては、漁業協同組合等と回収の終了時期やその後の対応を検討していく必要がある。 ・水産加工残渣に関しては、引き続き埋却地の適正管理を行いながら、最終的な処分方法の検討を進めていく必要がある。 ・いずれも、関係部署との連携を図りながら適正処理に努めていく。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度は、未回収分の海上・海中ガレキの回収・分別等、水産加工残渣の埋却地の適正管理と最終的な処分方法の検討を進めていくが、事業費自体は減少する見込みである。処理が進めば成果は向上する。 ・今年度で処理が完了すれば事業廃止となるが、一部埋却地の管理や時化等によって再度海上・海中ガレキの回収を行う状況も想定される。 ・いずれの場合でも県や関係部署との連携を強化しながら、法に基づき適切に処理を行っていく。 	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋却処分した水産加工残渣の最終的な処分方法について、まだ効果的な方策が見出せない状況であり、引き続き関係機関との協議、検討を深めたい。 																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	
-------	-----	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23年度で水産課所管分はほぼ回収、処分を終えることができた。 ・今後は、時化等により再度海上ガレキの処理が必要になった場合の対応や、水産加工残渣の最終的な処分方法について、関係機関、関連部署との連携を図りながらの検討を進めていく必要がある。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度は、未回収分や時化等によって必要となった際の海上・海中ガレキの回収・分別等、水産加工残渣の埋却地の適正管理と最終的な処分方法の検討を進めていく。 ・いずれの場合でも県や関係部署との連携を強化しながら、法に基づき適切に処理を行っていく。 	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	●																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項